

事業所における自己評価総括表

事業所名	放課後等デイサービス ほのぼの家族			
保護者評価実施期間	令和7年11月1日～令和7年11月30日			
保護者評価有効回答数	対象者数	26	回答者数	18
従業者評価実施期間	令和7年11月11日～令和7年11月11日			
従業者評価有効回答数	対象者数	8	回答者数	8
事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月19日			

○分析結果

	事業所が より特化・充実させたい 点	工夫していること	さらに充実を図るために 取り組むこと
1	子どもたちの未来のために！ 大人になるまでに必要な 「社会の中で生きる力」 を身につける	「生活・健康」、「運動・感覚」、「認知・行動」、 「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」の5領域に特化したトレーニングをゲーム形式で学ぶ活動「ミッションゲーム」を実施している。また、「みんなであそぼう」、「みんなで作ろう」、「調理レク」を集団活動として実施しており、集団でのルールやマナーを身につけ、友だちと楽しく活動できるよう訓練している。	5領域トレーニングの内容をより充実させたい
2	利用児1人1人の課題 に寄り添い、利用児が社会 の中で抱える“生きづ らさ”を軽減させられる ようになる	自分の思い通りにならない時に他児を叩く、物を投げるなどの行為や、自分の気持ちを言葉にできないためにトラブルの解決が難しい利用児に対して、都度、指導員や他児と話合う機会を設け、「気持ちを言葉にする」経験を積めるよう配慮している	問題が起きた時にどのように対処したらいいかを利用児と一緒に考え、対処法を自分自身で身につけられるような指導をしていきたい
3	保護者の負担を減らす取 り組み	保護者の負担を軽減させる取り組みとして、放デイを利用している家庭に社協のボランティアグループがつくっている夕食の弁当を届ける仕組みを実施した。また、夏休みの自由課題に対応できる制作を実施している。	朝のお迎えができるように検討する

	事業所の課題や改善点	その課題の原因	改善に向けて必要な 取り組み・工夫
1	専門職による支援	PT、OT、検査技師等の専門職がない	既存の指導員の中で検査に関する研修を受ける、強度行動障害養成研修などを受講する
2	ご家族支援	保護者同士のつながりが作れていない	交流会などを企画し、悩みや困っていることを気軽に相談できる仕組みを作りたい
3	新たなニーズに対応する 取り組みができていない	ハード面の困難さ	年代により放デイを分ける等の取り組みをおこなうために行政との話し合いができると良い